

市・丹波市社会福祉協議会主催 ボランティア活動に参加しました

6月1日から4日までの4日間、熊本地震で被害を受けた熊本県西原村で、丹波市のボランティア20人が災害支援活動を行いました。

被災家屋から家具を搬出したり、がれき撤去作業などに従事しました。参加者は「余震が長く続き、被災者の方も疲れておられると感じた。少しでも力になれば」と話しました。

被害にあわれた方に心からお見舞いを申し上げるとともに、一日も早い復興をお祈りします。



被災家屋から畳の搬出を行うボランティア



出場準備よし！ 消防救助技術 近畿地区指導会出場

5月19日、市消防本部で第45回消防救助技術近畿地区指導会の出場隊員発表と結団式を行いました。

出場種目は、ロープブリッジ渡過とはしご登はんの2種目で、計4人が市の代表として出場します。

7月23日、東大阪市で開催される指導会での上位入賞をめざし、訓練に励んでいます。



ロープブリッジ渡過（写真左）とはしご登はん（写真右）の訓練に励む消防署員

市内3高校合同 看護師養成セミナーを開催



県立柏原病院副院長兼看護部長の中川裕美子さんの話に真剣に耳を傾ける高校生たち

5月31日、市内3高校が合同で看護師をめざす生徒を応援しようと看護師養成セミナーを開催しました。

セミナーは来年2月までの全13回。初回は県立柏原病院の職員による講義と県立柏原病院勤務の看護師から経験や仕事のやりがいなどを聞く機会が設けられました。

今後、生徒たちは学力向上を図り、看護体験などを通して地域の医療を支える看護師をめざします。

企業と地元が協力 遠阪の森づくりにチャレンジ



山道を歩きやすくするため木や枝を取り除く参加者たち

5月14日、遠阪区（青垣地域）の地元住民と一緒に飲料を取り扱うアサヒグループの社員やその家族が森づくりに取り組みました。

アサヒグループは社会貢献活動の一環として、平成21年度に地元住民による「遠阪森づくり協議会」と協定を締結。森づくりを開始し、今回が8回目。遠阪にある「イジリ山」の山道整備を進めています。

参加した人は「自然を楽しみながら、環境保全活動ができて気持ちがいい」と話しました。



オーバン市・ケント市・丹波市 姉妹都市交流に関する覚書調印式

5月13日、かねてから親交のあるアメリカのオーバン市・ケント市との姉妹都市交流に関する覚書調印式が柏原支所で行われました。

はじめて丹波市を訪れたオーバンのバッカス市長は「訪問できてうれしい。交換留学生をはじめとする長い交流の歴史を誇りに思う」と話しました。

バッカス市長と辻市長は調印式の後、市内の事業所や柏原高校を視察。経済交流、教育について意見交換をしました。

ワンストップ3姉妹現る

移住相談窓口 「ワンストップ丹波」 新装開店



移住相談窓口を担当する八木下和さん、田代春佳さん、中川ミミさん（写真左から）

市では、移住相談窓口「ワンストップ丹波」を春日庁舎2階に開設し、今後ワンストップ3姉妹が住まい・仕事・生活情報の相談に応じていきます。

3姉妹は、地域おこし協力隊で「住まいるバンク」を担当する中川ミミさん、「就職支援サイト」を担当する八木下和さん、移住相談員の田代春佳さんで構成された窓口担当者3人の愛称です。丹波市にUターンした3人は「イ・職・住」（イはイベント）情報の充実と効果的な発信をめざしています。

3人は海外滞在経験があり「海外からの移住希望者の相談にも応じたい。国内だけでなく、海外も視野に入れた市のPRをめざす」と話しました。



①三味線を習うバッカス市長②柏原高校ではじめての書道に挑戦



英語の授業に飛び入り参加し、高校生に英語を学ぶ意味について話すバッカス市長

食物アレルギー対応 鹿肉を使用した非常食 の寄贈を受けました



5月27日、丹波市産の鹿肉を使用した、食物アレルギー対応非常食が(株)ジェイ・インターナショナル（神戸市）と(株)丹波姫もみじから寄贈されました。アレルギー特定原材料27品目を使用していない「和風肉じゃが」と「かぼちゃのそぼろ煮」の2種類96缶のおかず缶です。

災害時にもおいしく安心なものをつくらうと、アレルギーを起こしにくいタンパク源として鹿肉を使用し、大阪府立大学の監修により製造されました。

災害などの非常時に、食物アレルギーを抱える方々の強い味方になることが期待されています。



アレルギー対応非常食を寄贈した(株)ジェイ・インターナショナル社長の山本春雄さん（写真左）